



パラオだより

第10号

アンガウル島に行ってきました



パラオの南の端の島「アンガウル島」に行ってきました。ペリリュー島と同じく、ここも太平洋戦争の時に、多くの日本人が戦死した場所です。船で約1時間ちょっと。波が高いので、死ぬかと思いつながらなんとか上陸できました。日本軍の作った灯台の跡や、戦争で使われた戦闘機の残がいなどがたくさん残されていました。日本人なら、一度は訪れてほしい場所です。

地域と文化

クラム漁

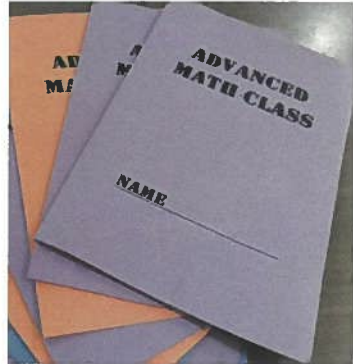
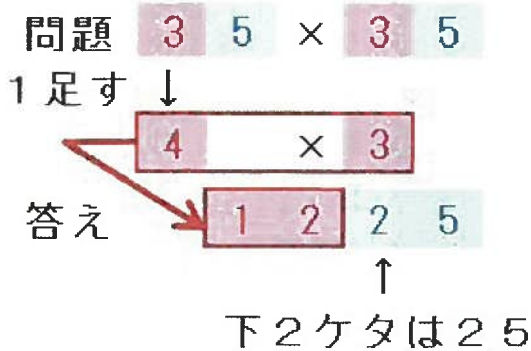
クラムとは「大シャコ貝」のことです。日曜日に、村人たちが漁に行くのについていきました。まずボート4せきで、サンゴしょうの浅瀬までいきます。そして、その後は手分けしてクラムをみんなで探しました。



クラムはその辺に落ちている岩と見分けがつきにくいですが、よく見ると独特な形をしているので分かります。筒井先生は2時間で3つしか見つけられませんでした。他のパラオ人は20~30個ほど見つけていました。その後、ボートの上でとれたてのクラムをワサビとしょうゆでいただきました。めちゃくちゃ美味しかったです。

算数特別クラス

4年生のクラスで、毎週金曜日の7時間目に「算数特別クラス」を行うことにしました。これは、算数の問題をより速く解くためのいろんな技を教える時間にしていきたいと思っています。初回は「一の位が5同士の掛け算を秒速で解く裏技」を教える回になりました。非常に有名な技なのでみなさんも知っていると思います。（知らない子は近くの先生にきいてみてね）毎週30分ずつ教えていきますが、来年の今頃にはどのくらい技を使いこなせるようになっていくのか、楽しみです。



Q&Aコーナー

Q 一番好きな町はどこですか(旧6年 Oさん)

A 自分の住んでいる場所が一番です。どの協力隊も素晴らしいですが、任地で2年間過ごすうちに、最後はそこの生活が大好きになります。

確かに、先生の任地であるアルモノグイ州は、虫の多い田舎だし、シャワーは水しか出ないし、時々停電するので不便だなあと思うこともあります。でも日本では味わえない経験ができたり、温かい人と人とのつながりに触れる機会が多かったりするので、やはりここの生活もいいなあと思うようになってきました。隊員生活を終えた後もパラオ人と結婚してこちらで暮らしている日本人もたくさんいます。それくらいみりよく的な国なのですね。